



2023年4月27日

各位

会社名 キムラユニティー株式会社  
代表者名 代表取締役社長 成瀬 茂広  
(コード番号 9368 東証スタンダード・名証プレミア)  
問合せ先 取締役副社長 管理本部長 小山 幸弘  
( TEL : 052 - 962 - 7053 )

## (訂正)「2023年3月期 決算短信[日本基準] (連結)」の一部訂正に関するお知らせ

2023年4月27日に発表しました「2023年3月期 決算短信[日本基準] (連結)」において、一部訂正すべき事項がありましたので、お知らせいたします。訂正箇所には下線\_を付して表示しております。なお、経営成績・財務諸表の数値に関する訂正はございません。

### 記

#### 1. 訂正の理由

「2023年3月期 決算短信[日本基準] (連結)」において、記載内容に不備がありましたのでこれを訂正いたします。

#### 2. 訂正箇所

- 3. 連結財務諸表及び主な注記
- (5) 連結財務諸表に関する注記事項

#### 3. 訂正内容

##### 【訂正前】

(会計方針の変更)

(米国財務会計基準審議会会計基準編纂書(ASC)第842号「リース」の適用)

米国会計基準を適用している在外連結子会社において、ASC第842号「リース」を当連結会計年度より適用いたしました。これに伴い、借手のリース取引については、原則としてすべてのリースについて資産及び負債として計上しております。本基準の適用にあたっては、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。この結果、当連結会計年度末の、有形固定資産の「その他」が615,797百万円、流動負債の「リース債務」が164,382百万円、固定負債の「リース債務」が480,619百万円増加しております。なお、当連結会計年度の損益に与える影響は軽微であります。

##### 【訂正後】

(会計方針の変更)

(米国財務会計基準審議会会計基準編纂書(ASC)第842号「リース」の適用)

米国会計基準を適用している在外連結子会社において、ASC第842号「リース」を当連結会計年度より適用いたしました。これに伴い、借手のリース取引については、原則としてすべてのリースについて資産及び負債として計上しております。本基準の適用にあたっては、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。この結果、当連結会計年度末の、有形固定資産の「その他」が615百万円、流動負債の「リース債務」が164百万円、固定負債の「リース債務」が480百万円増加しております。なお、当連結会計年度の損益に与える影響は軽微であります。

以上